

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証JASDAQ)
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司
電話番号 0836-39-5151
URL <http://www.afs.co.jp/>

(訂正)「平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成30年5月14日に開示いたしました「平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東
コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151
四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日
配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第2四半期の業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	931	△11.3	19	△72.3	13	△53.6	7	30.1
29年9月期第2四半期	1,049	△0.1	71	△13.7	29	△50.8	5	△89.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	2.97	-
29年9月期第2四半期	2.58	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第2四半期	2,508	999	39.8	405.63
29年9月期	2,539	1,041	41.0	422.66

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 999百万円 29年9月期 1,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	20.00	20.00
30年9月期	-	0.00	-	-	-
30年9月期(予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	3.0	140	89.5	116	287.9	85	9.4	34.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	2,513,800株	29年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	50,143株	29年9月期	50,143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	2,463,657株	29年9月期2Q	2,182,217株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向と、雇用、所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかながらも回復基調が続く一方で、海外の政治・経済動向の不確実性の高まりや株式市場の不安定感から、先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社の主要販売先である外食業界におきましては、全体的な売上高として堅調な推移を見せているものの、業態によって業況にばらつきがあるほか、消費者の節約志向は依然根強く、食材価格の高騰や、人材確保の競争激化による人件費の高騰など、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、中堅、大手の外食チェーンを中心に、従来からのASPサービスを核としたPOS・オーダーリングシステムなど、トータルソリューションを提供する中、ソフトウェア販売の比率を徐々に高めております。また、平成29年8月31日に「ホテル運営事業の譲受に関するお知らせ」で公表したとおり、事業の譲受により、ホテル事業へ参入しております。

その結果、当第2四半期累計期間は、売上高は931,416千円（前年同四半期比11.3%減）となりました。利益面に関しましては、営業利益19,825千円（前年同四半期比72.3%減）、経常利益13,697千円（前年同四半期比53.6%減）、四半期純利益7,323千円（前年同四半期比30.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、当社は、「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、平成29年9月21日付でナチュラルグリーンリゾート株式会社より、ホテル事業の譲受を行ったことに伴い、第1四半期会計期間から、報告セグメントを「ASPサービス事業」と「ホテル関連事業」に変更しております。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である飲食店舗に対し、ASPサービスを核としたASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は904,922千円となり、セグメント利益は28,890千円となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力した結果、売上高は562,239千円（前年同四半期比2.4%増）となりました。月額サービス料は、6ヶ月累計で509,452千円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、POSシステムなどの新規受注、既存顧客の入替えなどを行った結果、売上高は246,540千円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売などを行った結果、売上高は96,141千円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は26,494千円となり、セグメント損失は9,065千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、2,508,538千円となり、前事業年度末に比べ31,101千円減少いたしました。これは主に、商品85,465千円、未収入金55,809千円、ソフトウェア仮勘定21,908千円の増加があった一方で、現金及び預金96,342千円、未収消費税53,103千円、ソフトウェア19,561千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,509,206千円となり、前事業年度末に比べ10,858千円増加いたしました。これは主に長期借入金59,166千円、未払金14,564千円などの減少があった一方で、短期借入金50,000千円の増加などによるものであります。

純資産は999,332千円となり、前事業年度末に比べ41,960千円減少いたしました。これは、四半期純利益7,323千円の計上の一方、配当金の支払い49,273千円に伴う利益剰余金41,949千円の減少などによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動、投資活動及び財務活動により、前事業年度末に比べ94,342千円減少し、当第2四半期会計期間末には155,178千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、48,428千円(前年同四半期は得られた資金203,321千円)となりました。これは主に、たな卸資産の増加81,748千円の一方で、減価償却費82,757千円の計上及び税引前四半期純利益13,697千円の計上などによる資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、83,044千円(前年同四半期は使用した資金433,720千円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出44,276千円及び無形固定資産の取得による支出33,909千円などによる資金の減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、59,726千円(前年同四半期は得られた資金294,651千円)となりました。これは主に、短期借入れによる収入50,000千円の一部で、配当金の支払いによる支出49,126千円及び長期借入金の返済による支出44,583千円などによる資金の減少であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、通期業績について、第2四半期累計期間の業績及び事業環境等を踏まえ見直しを行った結果、平成30年5月2日に業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、平成30年5月2日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	281,520	185,178
売掛金	161,963	<u>144,410</u>
商品	<u>323,349</u>	<u>408,814</u>
貯蔵品	28,860	25,143
前渡金	17,773	9,209
前払費用	<u>16,330</u>	<u>17,761</u>
繰延税金資産	<u>42,792</u>	<u>50,001</u>
未収入金	8,712	64,521
未収消費税等	53,103	—
その他	6,896	134
貸倒引当金	<u>△4,259</u>	<u>△5,411</u>
流動資産合計	<u>937,042</u>	<u>899,764</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	720,789	722,726
構築物(純額)	18,466	17,691
工具、器具及び備品(純額)	149,033	159,558
土地	139,627	139,824
リース資産(純額)	76,523	68,535
建設仮勘定	615	695
有形固定資産合計	<u>1,105,055</u>	<u>1,109,031</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	<u>100,362</u>	<u>80,800</u>
ソフトウェア仮勘定	<u>163,697</u>	<u>185,605</u>
電話加入権	2,445	2,445
特許権	671	624
のれん	27,777	25,000
無形固定資産合計	<u>294,953</u>	<u>294,476</u>
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	123	124
長期前払費用	<u>140,273</u>	<u>141,478</u>
敷金及び保証金	12,200	13,152
繰延税金資産	12,262	8,257
長期未収入金	59,677	59,158
その他	10,825	15,932
貸倒引当金	<u>△43,050</u>	<u>△43,037</u>
投資その他の資産合計	<u>202,512</u>	<u>205,266</u>
固定資産合計	<u>1,602,520</u>	<u>1,608,774</u>
繰延資産		
社債発行費	77	—
繰延資産合計	<u>77</u>	<u>—</u>
資産合計	<u>2,539,640</u>	<u>2,508,538</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,276	134,350
短期借入金	450,000	500,000
1年内償還予定の社債	7,000	—
1年内返済予定の長期借入金	103,749	118,333
リース債務	17,643	17,253
未払金	68,140	53,575
未払費用	11,942	11,892
未払法人税等	6,569	14,340
預り金	10,150	16,659
前受金	52,099	52,458
賞与引当金	19,461	16,696
その他	—	24,543
流動負債合計	890,034	960,102
固定負債		
長期借入金	501,250	442,083
リース債務	65,706	57,079
退職給付引当金	41,356	35,373
その他	—	14,566
固定負債合計	608,313	549,103
負債合計	1,498,347	1,509,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	213,181	171,231
自己株式	△37,560	△37,560
株主資本合計	1,041,206	999,256
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	75
評価・換算差額等合計	86	75
純資産合計	1,041,292	999,332
負債純資産合計	2,539,640	2,508,538

(2) 四半期損益計算書
 (第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	1,049,659	931,416
売上原価	<u>660,853</u>	<u>554,595</u>
売上総利益	<u>388,805</u>	<u>376,820</u>
販売費及び一般管理費	<u>317,163</u>	<u>356,995</u>
営業利益	<u>71,641</u>	<u>19,825</u>
営業外収益		
受取利息	5	2
貸倒引当金戻入額	3,439	—
助成金収入	700	750
その他	235	1,169
営業外収益合計	<u>4,380</u>	<u>1,921</u>
営業外費用		
支払利息	4,730	5,124
支払保証料	247	247
支払補償費	3,383	1,385
支払手数料	<u>38,066</u>	<u>790</u>
その他	77	500
営業外費用合計	<u>46,506</u>	<u>8,049</u>
経常利益	<u>29,515</u>	<u>13,697</u>
税引前四半期純利益	<u>29,515</u>	<u>13,697</u>
法人税、住民税及び事業税	24,665	9,574
法人税等調整額	<u>△780</u>	<u>△3,200</u>
法人税等合計	<u>23,884</u>	<u>6,373</u>
四半期純利益	<u>5,631</u>	<u>7,323</u>

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	29,515	13,697
減価償却費	55,448	82,757
のれん償却額	—	2,777
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,439	1,138
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△820	△2,765
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,934	△5,983
受取利息及び受取配当金	△6	△2
支払利息	4,730	5,124
支払手数料	38,066	790
売上債権の増減額 (△は増加)	124,012	17,552
たな卸資産の増減額 (△は増加)	278	△81,748
仕入債務の増減額 (△は減少)	△44,911	△8,926
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25,855	4,289
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△15,013	20,434
その他	2,547	4,331
小計	170,487	53,468
利息及び配当金の受取額	6	2
補助金の受取額	69,059	—
利息の支払額	△3,135	△5,113
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△33,095	71
営業活動によるキャッシュ・フロー	203,321	48,428
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△360,467	△44,276
無形固定資産の取得による支出	△60,052	△33,909
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
子会社株式の取得による支出	△10,200	—
その他	—	△1,858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△433,720	△83,044
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	870,000	50,000
短期借入金の返済による支出	△1,003,000	—
長期借入れによる収入	650,000	—
長期借入金の返済による支出	△174,000	△44,583
リース債務の返済による支出	△1,886	△9,016
社債の償還による支出	△7,000	△7,000
自己株式の取得による支出	△61	—
配当金の支払額	—	△49,126
その他	△39,400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	294,651	△59,726
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	64,253	△94,342
現金及び現金同等物の期首残高	229,749	249,520
現金及び現金同等物の四半期末残高	294,002	155,178

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表 計上額(注)
	ASPサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	904,922	26,494	931,416	—	931,416
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	17,697	17,697	△17,697	—
計	904,922	44,192	949,114	△17,697	931,416
セグメント利益又は損失 (△)	28,890	△9,065	19,825	—	19,825

(注) セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前第2四半期累計期間においては「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、平成29年9月21日付でナチュラルグリーンリゾート株式会社より、ホテル事業の譲受を行ったことに伴い、第1四半期会計期間より、報告セグメントとして「ホテル関連事業」を新設しております。これにより、当社の報告セグメントは、「ASPサービス事業」及び「ホテル関連事業」の2つの報告セグメントとなりました。